

お知らせ

記者発表資料

令和元年8月19日

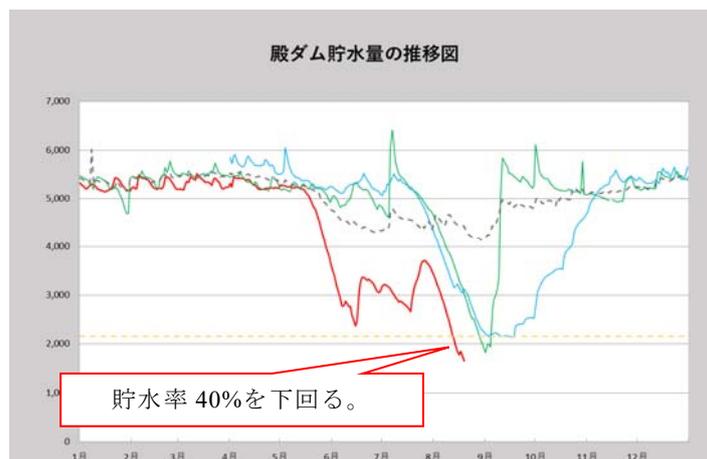
■同時発表先

合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

8月19日（月）10時に
「中国地方整備局渇水対策本部」を設置
～7月末以降の少雨によりダム貯水量が減少～

中国地方整備局では、7月26日に「中国地方整備局渇水対策本部」を解散しましたが、その後まとまった降雨がなく、特に山陰側のダム貯水量が減少してきており、中国地方整備局では、適切な渇水対策を円滑に行うことを目的とし、8月19日（月）10時に渇水対策本部を設置しました。

- 中国地方整備局管内の一級河川では、7月末以降まとまった降雨がなく、特に山陰側の河川において少雨傾向となっています。これに伴い山陰側のダムの貯水量も低下しています。
- 斐伊川水系においては、尾原ダム貯水率の低下に伴い令和元年6月13日（木）から渇水調整を開始しており、出雲河川事務所には渇水対策支部が設置されています。
- 千代川支川袋川においても、7月末以降まとまった降雨がなく殿ダムの貯水量も減少しており、貯水率が40%を下回ったことから、千代川流域水利用協議会（6月12日）で決定した調整基準に基づき、千代川支川袋川において、8月19日（月）10時00分より第一次渇水調整として、節水運用を開始し、これに伴い鳥取河川国道事務所に渇水対策支部を設置しました。
- このため国土交通省中国地方整備局では、適切な渇水対策を円滑に行うことを目的とする「中国地方整備局渇水対策本部」（本部長：中国地方整備局長 水谷 誠）を8月19日（月）10時00分に設置しました。



<問い合わせ先>

中国地方整備局 082-221-9231 (代表) : (平日・昼間)

(担当) 河川部 河川保全管理官 かわもと 川本 ようじろう 洋次郎 (内線3519)

河川管理課長補佐 さいとう 齊藤 かずまさ 一正 (内線3756)

(広報担当窓口)

広報広聴対策官 いわした 岩下 やすひさ 恭久 (内線2117)

企画部 環境調整官 さかもと 坂本 やすまさ 泰正 (内線3114)

◇現在の取水制限状況について

中国地方整備局管内の一級河川における取水制限等の状況は下記のとおりです。

【取水制限】

○斐伊川水系

- ・ 6月13日(木)より第1次^{かみしま} ^{きすき} 取水調整：上島・木次地点の確保流量を、尾原ダム操作規則に基づいた流水の正常な機能の維持のため必要な流量(以下「正常流量」という)の約70%とする調整を実施
- ・ 6月17日(月)より尾原ダムの貯水率が回復したので第一次取水調整を解除
- ・ 6月26日(水)より第一次取水調整を再開：上島・木次地点の確保流量を正常流量の約70%とする調整を実施(再開)
- ・ 7月19日(金)より尾原ダムの貯水率が回復したので第一次取水調整を解除
- ・ 8月9日(金)より第一次取水調整を再開：上島・木次地点の確保流量を正常流量の約70%とする調整を実施(再開)
- ・ 8月14日(水)より第二次取水調整を開始：上島・木次地点の確保流量を正常流量の約60%とする調整を実施

○千代川支川袋川

- ・ 8月19日(月)より第一次節水運用：袋川農水について20%節水を実施予定

○日野川水系

- ・ 5月31日(金)より第1次取水制限：上水・工水・農水 5%の取水制限を実施
- ・ 6月6日(木)より第2次取水制限：上水・工水・農水10%の取水制限を実施
- ・ 6月7日(金)より降雨のため流量が回復したので取水制限を一時解除
- ・ 7月26日(金)6月7日より継続していた取水制限の一時解除を正式解除

◇渇水調整協議会等の開催経緯

○斐伊川

- ・ 4月22日(月)斐伊川渇水調整協議会幹事会(第1回)を開催(平成31年度の斐伊川水利用運用について検討)
 - ・ 4月26日(金)斐伊川渇水調整協議会(第1回：持ち回り)を開催(平成31年度の斐伊川水利用運用について承認)
 - ・ 6月6日(木)斐伊川渇水調整協議会(第2回)を開催
- ※決定内容：尾原ダムの貯水率に応じた渇水調整案について(尾原ダム洪水期における利水容量を基準として、貯水率75%以下となった段階で渇水調整を開始)

○千代川水系袋川

- ・ 5月31日(金)千代川流域水利用協議会幹事会(第1回)を開催(渇水調整案を提示)
 - ・ 6月12日(水)千代川流域水利用協議会(第1回)を開催
- ※決定内容：殿ダムの貯水率40%を下回った場合は20%節水運用(袋川農水)を、貯水率40%を下回った翌日又は翌々日の10時に運用開始

○日野川

- ・ 5月23日(木)日野川流域水利用協議会幹事会(第1回)を開催(情報交換会)
- ・ 5月29日(水)日野川流域水利用協議会幹事会(第2回)を開催(取水制限案を提示)
- ・ 5月30日(木)日野川流域水利用協議会(第1回)開催(取水制限開始について承認)
- ・ 7月26日(金)日野川流域水利用協議会(第2回)開催(取水制限正式解除について承認)

◇現在の渇水対策支部設置状況

中国地方整備局管内の事務所における渇水対策支部設置状況は下記のとおりです。

- 出雲河川事務所（斐伊川）6月13日（木）設置
- 鳥取河川国道事務所（千代川支川袋川）8月19日（月）設置
- 日野川河川事務所（日野川）5月31日（金）設置
7月26日（金）解散

◇各水系の状況

中国地方の一級河川の降雨状況及び中国地方整備局が管理しているダムの貯水状況は別紙のとおりです。

◇渇水情報について

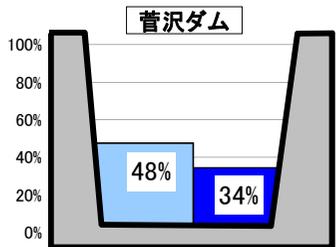
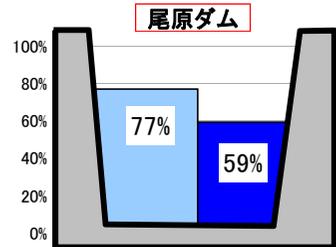
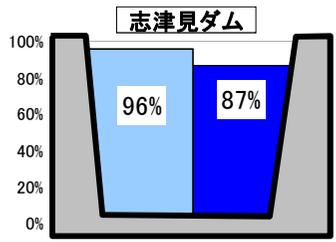
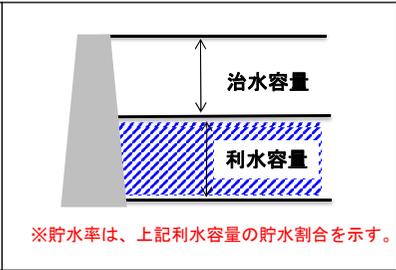
中国地方の渇水状況を広くお知らせし、限りある水資源を大切に使うため、主に一級河川のダム貯水状況などを中国地方整備局ホームページ(<http://www.cgr.mlit.go.jp>)に掲載しています。

中国地方の直轄ダム貯水量状況（利水容量） （令和元年 8月19日 0:00時点）

凡例

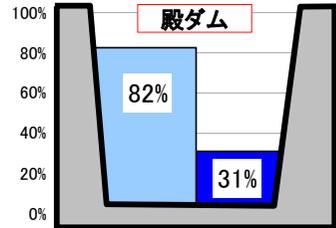
平年貯水率	現在貯水率
-------	-------

*志津見ダム H23～H30の貯水量との比
*尾原ダム、殿ダム H24～H30の貯水量との比
*その他のダム H21～H30の平均貯水量との比

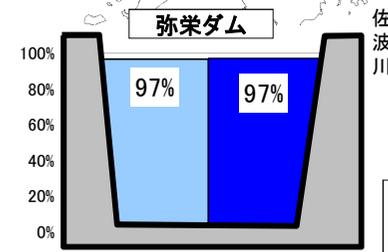
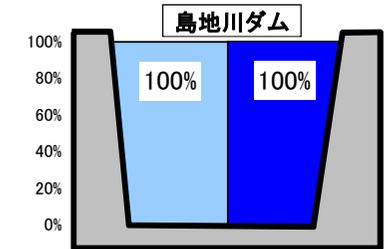
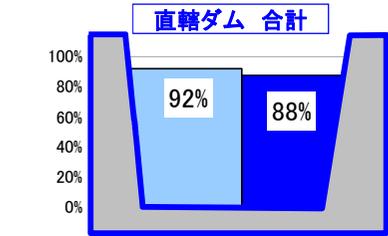
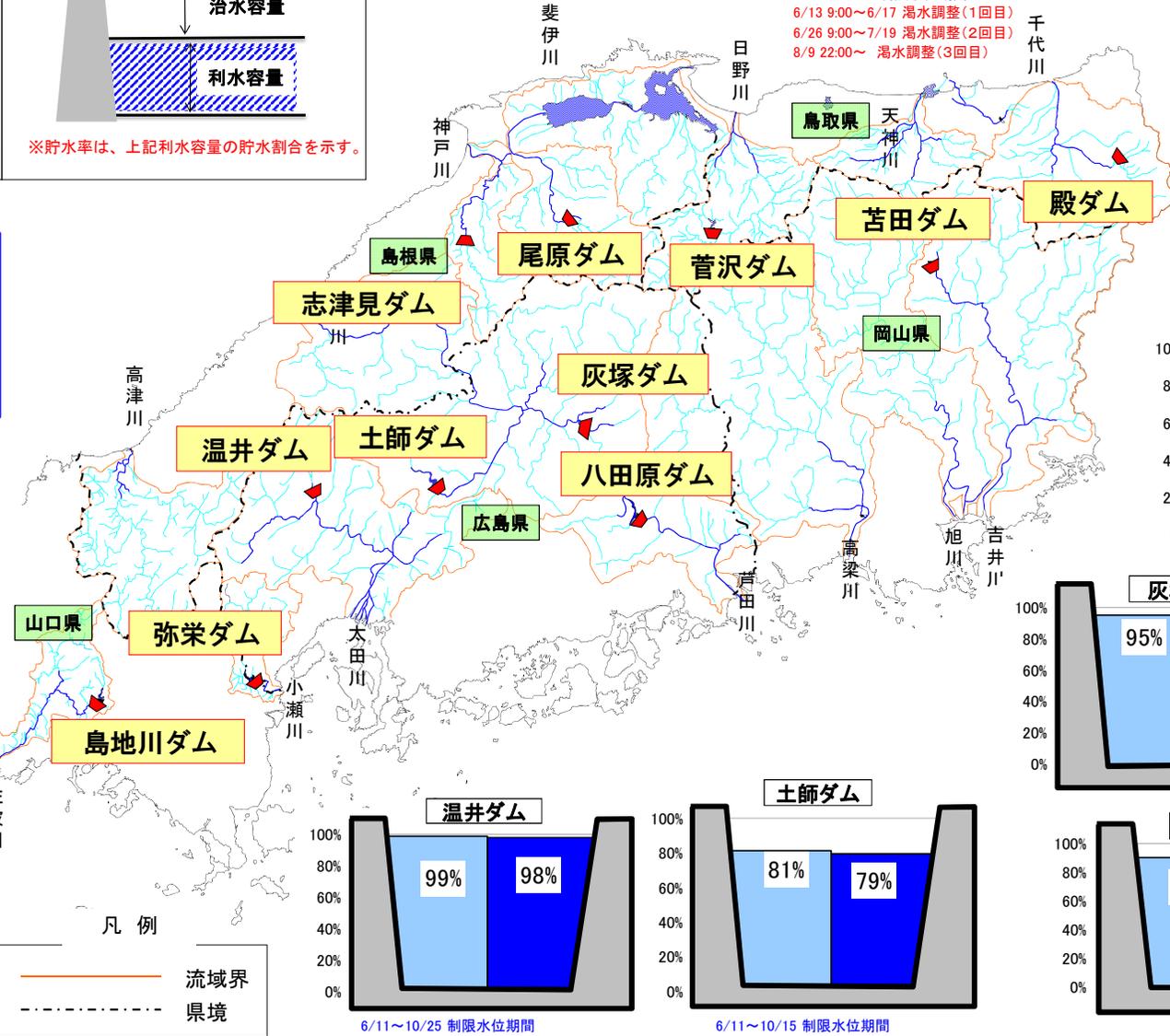
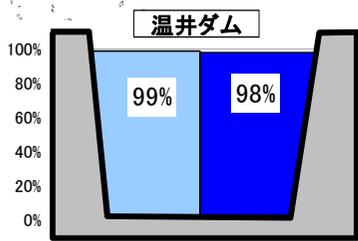
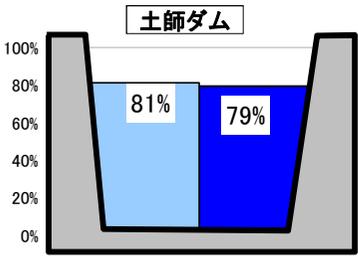
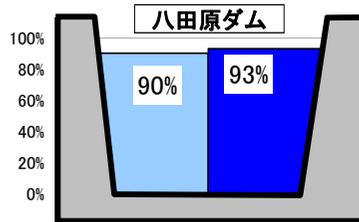
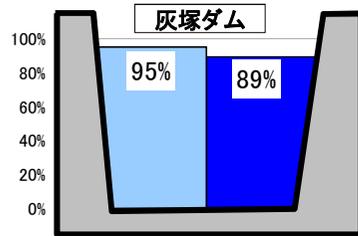
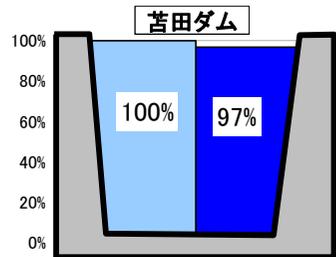


6/11～10/31 制限水位期間
6/13 9:00～6/17 湯水調整(1回目)
6/26 9:00～7/19 湯水調整(2回目)
8/9 22:00～ 湯水調整(3回目)

7/1～10/20 制限水位期間



8/19 10:00～ 湯水調整開始



6/11～10/25 制限水位期間

6/11～10/15 制限水位期間

向こう 1 か月の天候の見通し

中国地方（8 月 17 日～9 月 16 日）

広島地方気象台

予報のポイント

- 期間のはじめは、気温がかなり高くなる見込みです。
- 暖かい空気に覆われて、1 週目の気温は高く、2 週目、3～4 週目の気温は平年並か高いでしょう。向こう 1 か月を平均した気温は高い見込みです。

1 か月の平均気温・降水量・日照時間

		平均気温（1 か月）	降水量（1 か月）	日照時間（1 か月）
中国地方	山陰	低 10 並 40 高 50% 高い見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み
	山陽		少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み
		平均気温（1 か月） 	降水量（1 か月） 	日照時間（1 か月）
		低い確率 (%) 50 以上 40 平年並も 40 高い確率 (%) 50 以上	少ない確率 (%) 50 以上 40 平年並も 40 多い確率 (%) 50 以上	少ない確率 (%) 50 以上 40 平年並も 40 多い確率 (%) 50 以上

週別の天候

(1 週目) 8/17～23	(2 週目) 8/24～30	(3～4 週目) 8/31～9/13
高気圧に覆われて晴れる日もありますが、湿った空気の影響で雲が広がりやすく、雨の降る日があるでしょう。	高気圧に覆われて、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。	高気圧に覆われて、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

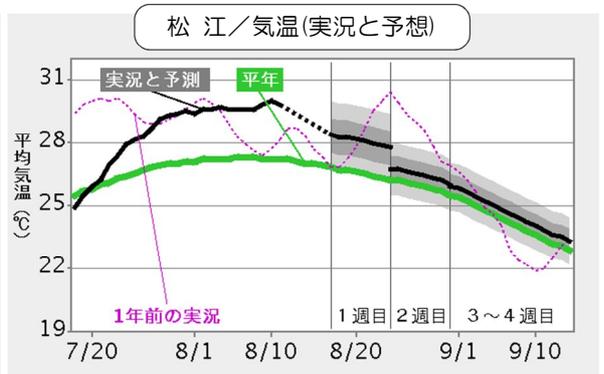
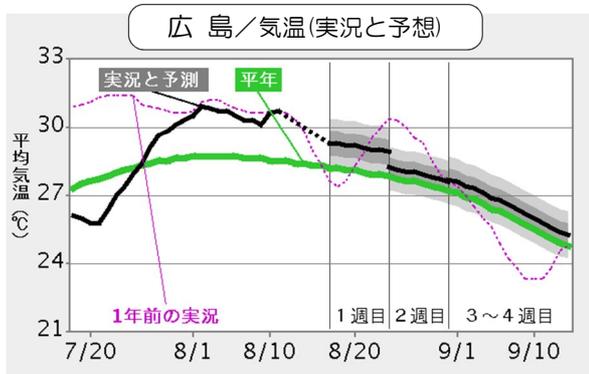
明日から 1 週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報 (<https://www.jma.go.jp/jp/week/>) を参照してください。

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

週別の平均気温

	平均気温（1 週目） 8/17~23	平均気温（2 週目） 8/24~30	平均気温（3~4 週目） 8/31~9/13
中国地方	低 10 並 20 高 70% 高い 見込み	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み
	平均気温（1 週目） 	平均気温（2 週目） 	平均気温（3~4 週目）

↑
数値は予想される
出現確率です



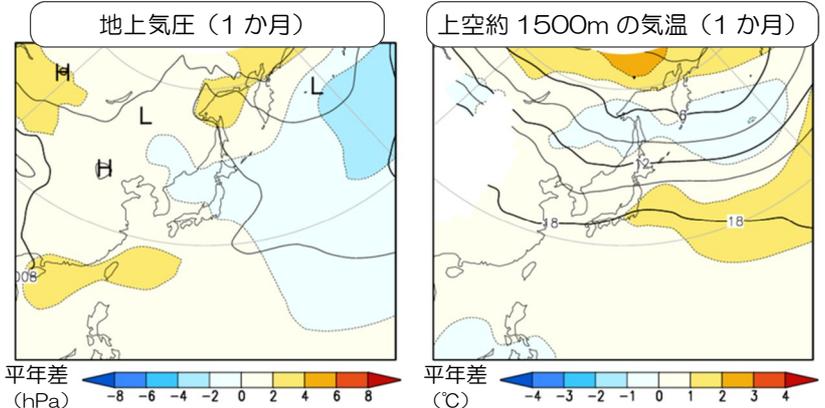
ほかの地点の気温（実況と予想）グラフは、
気象庁ホームページ
<https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/longfcst/tjikeiretu/index.php>
で公開しています。

↑
予想の気温は、週別の平均的な気温の見込みを黒い太線で表しています。信頼の程度が 40%の幅を濃い網掛けで、70%の幅を薄い網掛けで示しています。今年、昨年の実況は 7 日平均気温です。

数値予報モデルによる予測結果

1 か月平均の地上気圧（左図）は、
アリューシヤンの南を中心に北日本
を経て沿海州にかけて平年より低い
予想です。このため北日本付近では、
秋雨前線の影響を受ける時期がある
見込みです。一方、その他の地域では
平年より気圧の高い所が多い予想で、
台湾付近で明瞭となっています。
このため、太平洋高気圧は日本の南
で西への張り出しが強い見込みです。

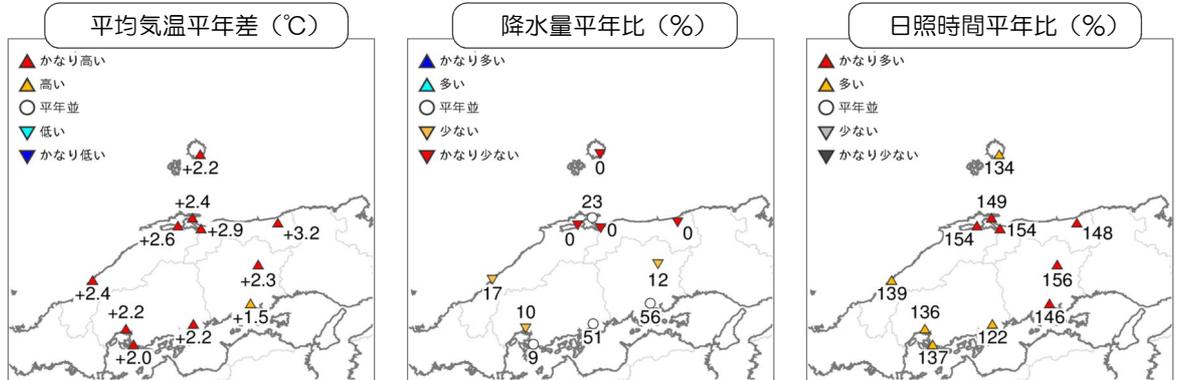
上空約 1500m の気温（右図）は、
アリューシヤンの南からサハリン
を経てアムール川上流にかけて平年
より低い予想です。一方、その他の地
域では平年より気温の高い所が多い
予想です。



季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のパラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

最近 1 週間の天候経過（実況） 8/8~14

期間のはじめと終わりは湿った空気や台風第 10 号の影響で曇りや雨となった所もありましたが、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。暖かい空気や強い日射の影響などから連日の猛暑日となった所があり、気温はかなり高くなりました。山陰の日照時間は、かなり多くなりました。



(実況) 8/8~14		平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
中国地方	山陰	+2.4℃ (かなり高い)	7% (少ない)	146% (かなり多い)
	山陽		28% (平年並)	139% (多い)

参考データ

● 平年並の範囲

	平均気温 (1 か月)	平均気温 (1 週目)	平均気温 (2 週目)	平均気温 (3-4 週目)
中国地方	平年差：-0.2~+0.4℃	平年差：-0.4~+0.6℃	平年差：-0.5~+0.7℃	平年差：-0.4~+0.7℃
松江	24.9~25.7℃	25.9~27.3℃	25.3~26.6℃	23.8~25.0℃
広島	26.6~27.4℃	27.7~28.6℃	27.1~28.1℃	25.6~26.8℃

	降水量 (1 か月)	日照時間 (1 か月)
山陰	平年比：80~116%	平年比：90~106%
山陽	平年比：60~116%	平年比：92~107%
松江	101.5~166.0mm	138.7~171.1 時間
広島	69.6~153.1mm	159.7~183.7 時間

「平年並」の範囲は、同時期の過去 30 年間（1981-2010 年）の値から統計的に求めています。30 年間のデータの中で「高い（多い）」「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30 年間の 30 個のデータのうち、値が高い（多い）方から 11~20 番目となる 10 個のデータの値の範囲を、おおよそ「平年並」の範囲としています。また、実況の分布図にある「かなり高い（多い）」などは、高い（多い）方から 3 番目までの値に相当します。

● 晴れ日数と降水日数の平年値

	1 か月		1 週目		2 週目		3~4 週目	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
松江	15.3 日	9.6 日	4.1 日	2.4 日	4.1 日	2.1 日	7.1 日	5.0 日
広島	17.1 日	7.2 日	4.5 日	1.7 日	4.4 日	1.5 日	8.2 日	3.9 日

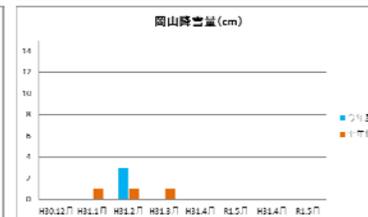
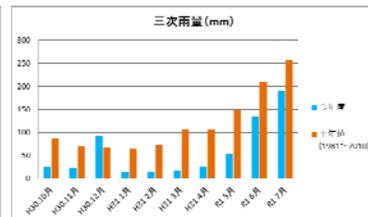
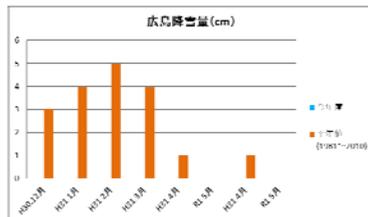
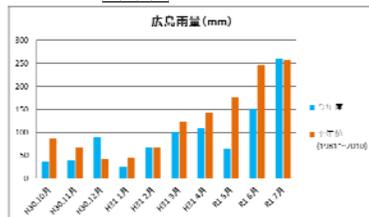
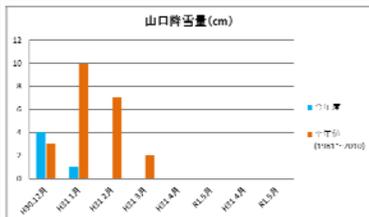
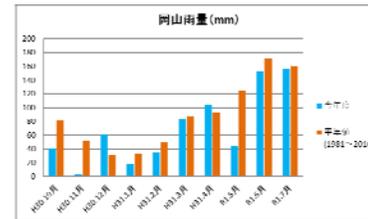
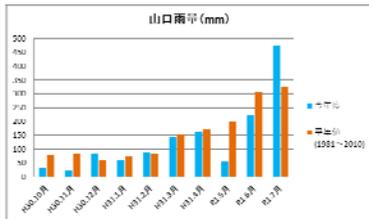
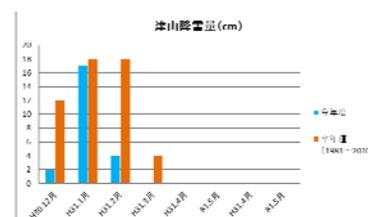
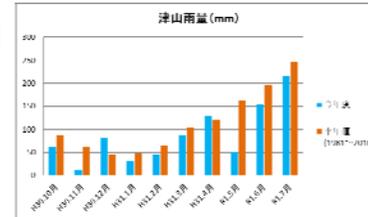
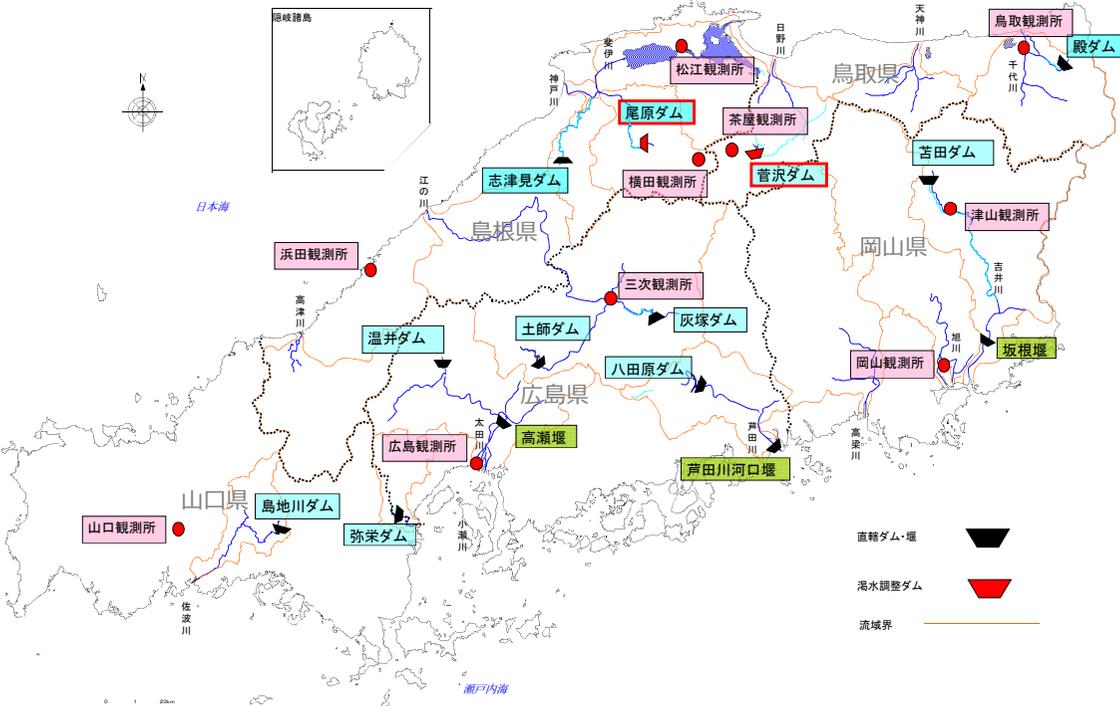
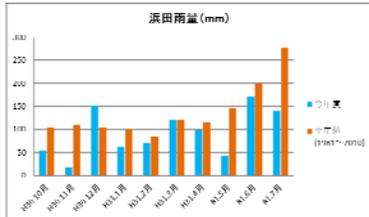
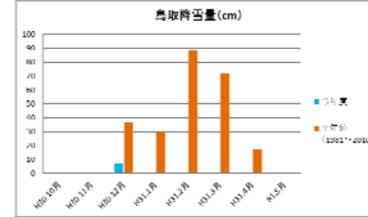
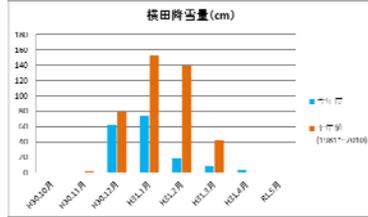
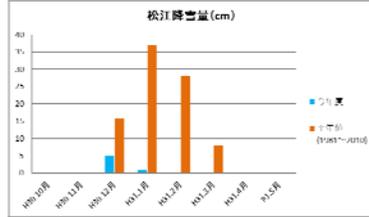
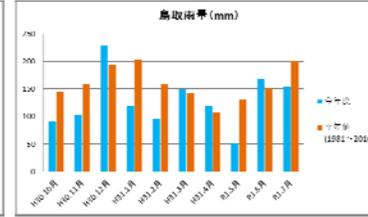
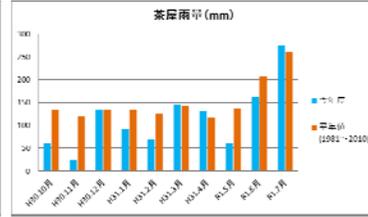
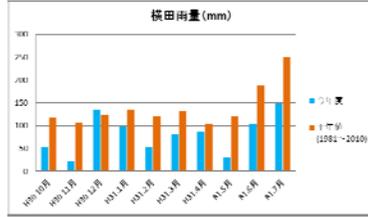
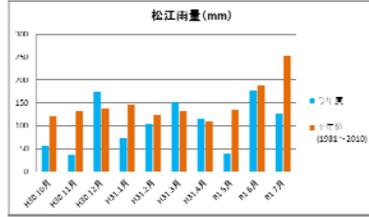
「晴れ日数」は「日照時間が可照時間の 40% 以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量 1mm 以上」の日数です。この 2 つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

● 確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率 (低い (少ない) : 平年並 : 高い (多い))	解 説
高い (多い) 確率が 50% 以上 (20 : 40 : 40)	高い (多い) 見込み 平年並が高い (多い) 見込み
平年並の確率が 50% 以上 (40 : 30 : 30) (30 : 40 : 30) (30 : 30 : 40)	平年並の見込み ほぼ平年並の見込み
(40 : 40 : 20)	平年並が低い (少ない) 見込み
低い (少ない) 確率が 50% 以上	低い (少ない) 見込み

中国地方の降雨・降雪状況(R1.7.31 時点)

H30.10～R1.7合計の年平均比		
	降雨量	降雪量
鳥取	80%	3%
茶屋	76%	
横田	58%	40%
松江	71%	7%
浜田	69%	
津山	77%	44%
岡山	79%	100%
三次	36%	
広島	71%	0%
山口	72%	23%



■既往の主な渇水

年次	水系名	時期	制限期間		最大取水制限率	地整本部	
昭和48年度	芦田川	夏期	昭和48年7月	～ 昭和48年9月	59日間	上水32%、工水78%、農水76%	
	太田川	夏期	昭和48年7月	～ 昭和48年9月	52日間	上水10%、工水40%	
	小瀬川	夏期	昭和48年7月	～ 昭和48年9月	49日間	上水5%、工水40%	
昭和53年度	芦田川	夏期	昭和53年8月	～ 昭和53年9月	50日間	上水40%、工水86%	
	太田川	秋期	昭和53年9月	～ 昭和53年9月	10日間	上水10%、工水10%	
	小瀬川	夏期	昭和53年8月	～ 昭和53年10月	61日間	上水10%、工水55%	
	佐波川	夏期	昭和53年8月	～ 昭和53年10月	62日間	上水10%、工水50%	
昭和57年度	芦田川	夏期	昭和57年6月	～ 昭和57年7月	16日間	上水10%、工水82%、農水56%	
	太田川	夏期	昭和57年7月	～ 昭和57年7月	9日間	上水20%、工水40%	
	小瀬川	夏期	昭和57年7月	～ 昭和57年7月	12日間	上水5%、工水55%	
	吉井川	夏期	昭和57年7月	～ 昭和57年7月	7日間	上水20%、工水20%	
昭和59年度	太田川	秋期	昭和59年11	～ 昭和59年12月	21日間	上水5%、工水10%	
昭和61年度	小瀬川	冬期	昭和61年12	～ 昭和61年12月	14日間	上水5%、工水10%	
昭和62年度	小瀬川	冬期	昭和63年2月	～ 昭和63年3月	22日間	上水5%、工水10%	
平成2年度	斐伊川	夏期	平成2年8月	～ 平成2年8月	6日間	番水実施	
平成4年度	太田川	夏期	平成4年7月	～ 平成4年7月	4日間	上水10%、工水20%、農水10%	
平成6年度	斐伊川	夏期	平成6年7月	～ 平成6年9月	59日間	上水20%、工水20%、農水22%	7/14～H7.5/11 302日間
	吉井川	夏期	平成6年7月	～ 平成6年9月	71日間	上水30%、工水30%、農水70%	
	旭川	夏期	平成6年8月	～ 平成6年9月	45日間	上水20%、工水30%、農水50%	
	高梁川	夏期	平成6年7月	～ 平成6年12月	117日間	上水50%、工水70%、農水90%	
	芦田川	夏期	平成6年7月	～ 平成7年5月	300日間	上水30%、工水68%、農水90%	
	太田川	夏期	平成6年7月	～ 平成6年10月	98日間	上水27%、工水60%、農水60%	
	小瀬川	冬期	平成6年12月	～ 平成7年5月	144日間	上水10%、工水55%	
	佐波川	秋期	平成6年9月	～ 平成7年4月	227日間	上水20%、工水20%、農水20%	
平成7年度	芦田川	夏期	平成7年8月	～ 平成8年3月	222日間	上水10%、工水60%、農水50%	—
平成8年度	芦田川	夏期	平成8年8月	～ 平成8年9月	39日間	上水5%、工水50%、農水50%	—
平成14年度	旭川	秋期	平成14年9月	～ 平成14年11月	70日間	上水10%、工水20%、農水30%	11/25～H15.2/26 94日間
	高梁川	秋期	平成14年9月	～ 平成14年12月	102日間	上水10%、工水20%、農水30%	
	芦田川	秋期	平成14年11	～ 平成15年3月	104日間	工水30%、農水40%	
平成17年度	日野川	夏期	平成17年6月	～ 平成17年7月	24日間	上水35%、工水35%、農水35%	7/1～7/15 15日間
	高梁川	夏期	平成17年7月	～ 平成17年7月	4日間	上水10%、工水10%、農水30%	
平成19年度	佐波川	冬期	平成19年1月	～ 平成19年4月	89日間	上水10%、工水10%、農水10%	12/20～2/5 48日間
	日野川	春期	平成19年5月	～ 平成19年7月	45日間	上水20%、工水20%、農水20%	
	佐波川	秋期	平成19年11	～ 平成20年2月	87日間	上水30%、工水30%、農水30%	
	高梁川	冬期	平成19年12	～ 平成20年1月	20日間	上水5%、工水5%、農水10%	
	小瀬川	冬期	平成20年1月	～ 平成20年1月	23日間	上水5%、工水10%	
平成20年度	江の川	夏期	平成20年8月	～ 平成20年12月	111日間	農水70%	8/22～10/8 48日間
	高梁川	夏期	平成20年8月	～ 平成20年11月	75日間	上水5%、工水10%、農水20%	
	芦田川	秋期	平成20年11	～ 平成21年3月	118日間	工水20%、農水20%	
平成21年度	日野川	春期	平成21年5月	～ 平成21年6月	33日間	上水20%、工水20%、農水20%	6/2～7/13 42日間
	芦田川	夏期	平成21年6月	～ 平成21年7月	51日間	工水30%、農水30%	
平成22年度	小瀬川	冬期	平成22年12	～ 平成23年3月	92日間	上水5%、工水20%	12/21～3/23 93日間
	佐波川	秋期	平成22年10	～ 平成23年2月	123日間	上水30%、工水30%、農水30%	
平成25年度	日野川	春期	平成25年5月	～ 平成25年6月	34日間	上水5%、工水5%、農水20%	5/21～7/9 50日間
	斐伊川	春期	平成25年5月	～ 平成25年7月	43日間	基準点確保流量70%減	
	芦田川	夏期	平成25年6月	～ 平成25年6月	10日間	工水20%、農水20%	
平成26年度	斐伊川	夏期	平成26年7月	～ 平成26年8月	25日間	基準点確保流量50%減	—
平成27年度	斐伊川	夏期	平成27年7月	～ 平成26年9月	33日間	基準点確保流量50%減	—
平成28年度	斐伊川	夏期	平成28年7月	～ 平成26年9月	33日間	基準点確保流量50%減	—
平成29年度	斐伊川	夏期	平成29年6月	～ 平成26年9月	75日間	基準点確保流量40%減	—